

令和 7 年 2 月 7 日

高齢支援課

令和 7 年度 多摩市介護予防事業の主な取り組み

1 TAMA フレイル予防プロジェクト

新たに市役所を会場とした定期開催を試行実施し、伴走型で実施した場合の効果を検証し、次年度以降の実施方法の検討につなげる。また、大規模会場については市内のイベントとの共催等を検討し、協定企業の協力を受けながら測定機器等使用したブースを設置するなど参加者の増加に向けた取り組みを行う。

2 近所 de 元気アップトレーニング

従来の「近所 de 元気アップトレーニング」のスキームを活用し、認知的フレイル予防を目的とした「近所 de 認知力アップトレーニング」を新たにメニュー追加することで、認知的フレイル予防に取り組む団体の増加を図る。

3 通いの場戦略会議

市内の通いの場の状況を把握し、今後の通いの場の展開方法を検討するため、介護予防・フレイル予防推進員を中心に第 2 層生活支援コーディネーター参画のもと、通いの場戦略会議を開催する。10 月頃までに市内約 300 か所の通いの場を訪問し、地域の分析を行い、今後の通いの場の拡充に向けた検討を進める。

4 介護予防ケアマネジメント

厚労省の示す総合事業のガイドライン等の改正内容を踏まえ、地域包括支援センターの負担軽減を図りつつ、元気塾や住民主体による訪問型サービスの利用者増加を図るため、介護予防ケアマネジメントの実施方法の見直しを進め、令和 8 年度から計画表の作成等を可能な限り省略した形での実施方法に改める方向で検討を進める。併せて、計画表に代えて介護予防手帳を活用する方法の検討を進める。

5 情報発信

多摩市公式ホームページに整理に合わせて、二次元コードを掲載したチラシの配布やたま広報を活用した周知活動を行うことで、電子媒体を活用した周知を強化し、各事業の参加につなげる。

また、スマートフォン相談会や体験会の機会でもホームページの周知を行うことで、相乗効果を狙う。

